

進捗報告書（実行団体）

事業名:	企業と連携したフードドライブ活動推進事業
資金分配団体:	一般社団法人全国フードバンク推進協議会
実行団体名:	特定非営利活動法人ふーどばんく OSAKA
実施時期:	2021年6月～2022年2月
事業対象地域:	大阪府
事業対象者:	コロナで貧困や孤立している子どもたち

Version 1.2

日付: 2021年11月22日

I. 事業概要

事業概要
フードドライブ活動に取り組む企業と連携し、市民に「食品ロス削減」活動を周知し活動意識を高める。さらに、集まった食品を地域で活躍する「子ども食堂」に提供し貧困や孤立している子どもたちへの支援へと繋げ地域全体で活性化をめざす。 子ども食堂も現状では料理して出すのが難しいので「弁当」や「ドライフード」をわたすいわゆるパントリー活動へと移行しているところが多く多様化しています。多様化した活動に対応したネットワークの構築をめざします。

II. 進捗報告の概要

総括
イベント開催を利用し、貧困や孤立している子どもたちへの支援へと繋げ地域全体で活性化をめざす取り組みを行っています。多様化する支援としてパントリー活動に着眼を置き、扇町公園を利用し6月・7月・8月の3ヶ月間で2720人の方々に食品を渡すことが出来ました。加えて、この活動を通じ多くのマスメディアが取り上げてもらうこととなりました。改めて、コロナ禍での緊急支援の必要性や地域での繋がりについて世論喚起ができています。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
フードドライブに取り組む事業所50か所以上の目標に30の事業所で地域の子ども食堂や支援団体へ提供できる体制の構築をめざします。 その伴い30の子ども食堂、地域支援団体と継続的な食支援を行うことで地域全体で「食」における貧困問題を解決する一つのツールとして位置づけをはかる。	フードドライブに取り組む事業所は、既に契約をしていたコープ、コーヨー、ダイエーに加えてマルナカ、イトーヨーカドーなど契約に結び付き100事業所を超えることとなりました。各店舗ではフードドライブコーナーを設けそれぞれの周期で提供いただいています。 また、貧困問題を解決するツールとして位置づけられる子ども食堂や地域支援団体は、現在25となっています。今後も目標値を上回る団体との繋がりを広げることとします。

活動	進捗状況	概要
イベント開催 第1回2021年6月26日(土) 第2回2021年7月24日(土) 第3回2021年8月28日(土)	計画通り	新型コロナウイルスの発生後、感染拡大防止のための「緊急事態宣言」が何度となく出され多くの人々の生活が疲弊する中、生活に困窮し特に食に困る人たちが増えてきました。ふーどばんく OSAKAへの問い合わせも「もう食べるものがない」「生活ができない」など「自助」が限界に達し行政の窓口では対応しきれない方からの「食支援」を求める問い合わせが多く寄せられています。このような状況の中、十分に発信ができない貧困や孤立している子どもたちへの支援が喫緊の課題となっています。そこでふーどばんく OSAKAでは6月・7月・8月と月に1度、扇町公園(大阪市北区)を利用し約1000人を対象に企業などから寄贈された食品を配布するフードパントリー活動を実施しました。結果、多くの皆さんに食品を渡すことができました。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
今回の活動において、コロナ禍での貧困対策は喫緊の課題であることを世論喚起できました。貧富の格差が異常なぐらい広がりをみせる世情において、貧困で苦しむ子どもたちがその地域ごとでケアできているのか、置き去りになっていないか、地域支援団体や子ども食堂を通じしっかりと緊急支援をしなければなりません。私たちは、食品提供を受ける企業やフードドライブなどの拡大を図りつつ、地域支援団体や子ども食堂との連携を深め地域全体の活性化への役割を果たすことが何よりも大切です。 また、今回のイベントにおいて多くのマスメディアに取り上げられることが出来ました。マスメディアを通じた発信は、多くの人に今の現状を周知できたのと同時に、一人ひとりの意識を変えてもらえるチャンスでもあります。今後も情報発信できるイベント企画を行っていきたいと感じました。

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥3,934,800	¥3,934,800	¥1,162,561	30%
	管理的経費	¥0	¥151,200	¥151,200	¥0	0%
合計		¥0	¥4,086,000	¥4,086,000	¥1,162,561	28%
補足説明		直接事業費ならびに管理的経費の賃金が振替をしていない。 11月分の清算で振替している。				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
子ども食堂も現状では料理して出すのが難しいので「弁当」や「ドライフード」をわたすいわゆるパントリー活動へと移行しているところが多く多様化しています。そのため、子ども食堂は以前の食事提供より持ち帰り食品の方が多くなっていくのが現状です。中間点となっている子どもでも提供食品と引取食品のバランスが壊れつつあります。提供食品を多くすれば解決すると思われがちですが、その流通と検品に多くの時間を費やすことになり、予算執行する上で大きな課題となります。そこで、支援団体や子ども食堂にその規模に応じた引取食品の制限を図ってもらうよう現在検討中です。

VII. その他

自由記述
特になし

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	無	
広報制作物等	無	
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	いいえ	